

1.	③	11.	③	21.	③	31.	②	41.	①
2.	④	12.	①	22.	④	32.	①	42.	②
3.	③	13.	④	23.	①	33.	①	43.	③
4.	④	14.	④	24.	④	34.	①	44.	①
5.	③	15.	③	25.	①	35.	④	45.	④
6.	③	16.	③	26.	③	36.	③	46.	③
7.	④	17.	②	27.	④	37.	③	47.	②
8.	②	18.	④	28.	④	38.	④	48.	④
9.	①	19.	③	29.	①	39.	②	49.	②
10.	②	20.	④	30.	④	40.	①	50.	④

1.

解答 ③

【解説】

正解は③「(地面など)を掘る」です。動詞の`dig`は、シャベルなどの道具や手を使って、地面などを「掘る、掘り返す」ことを意味します。`Archaeologists are digging for ancient artifacts.`(考古学者たちが古代の遺物を求めて発掘している)。①「大きい」は`big`、②「犬」は`dog`、④「～を(液体に)浸す」は`dip`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`dig`の活用は`dig - dug - dug`と不規則に変化します。`dig up`で「～を掘り出す」となります。比喩的に、情報を「探り出す」という意味で使われることもあります。

2.

解答 ④

【解説】

正解は④「絶滅する」です。`die out`は、「すたれる」という意味の句動詞で、動植物の種が完全にいなくなったり、習慣や伝統が時代と共になくなったりすることを表します。`Dinosaurs died out about 65 million years ago.`(恐竜は約6500万年前に絶滅した)。①「死ぬ」は`die`で、個々の死を指します。②「疲れ果てる」は`be tired out`、③「故障する」は`break down`が適切な表現です。

◆補足：`die out`は自動詞なので、受け身の形にはなりません。`go extinct`も「絶滅する」という意味の同義表現です。

3.

解答 ③

【解説】

正解は③「A を元気づける」です。`cheer A up`は、「A を励ます、元気づける」という意味の句動詞で、`A`には人が入ります。悲しんでいたり、落ち込んだりしている人を、言葉や行動で励まし、明るい気持ちにさせることを表します。`His friends tried to cheer him up after he lost the match.`（試合に負けた後、彼の友人たちは彼を元気づけようとした）。①「A を応援する」は`cheer for A`、②「A を迎えに行く」は`pick A up`、④「A を育てる」は`bring A up`が適切な表現です。

◆補足：目的語が`me`や`him`などの代名詞の場合は、必ず`cheer me up`のように動詞と副詞の間に置きます。また、目的語がなくても`Cheer up!`だけで、「元気を出して！」という励ましの言葉として非常によく使われます。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④の`rely`で、「～に頼る、～を信頼する」という意味の動詞です。通常、`rely on (upon) ~`の形で使われ、人や情報、援助などを必要とし、それをあてにすることを表します。`You can rely on me to keep your secret.`（あなたの秘密を守ることに关しては、私を信頼してくれていいですよ）。他の選択肢は、①`reply`が「返事をする」、②`relay`が「～を中継する」、③`relax`が「くつろぐ」という意味です。

◆補足：`rely on`は`depend on`とほぼ同じ意味で使えますが、`rely on`の方がより「信頼」のニュアンスが強い場合があります。形容詞形は`reliable`（信頼できる）、名詞形は`reliance`（信頼、依存）です。`This information is not reliable.`（この情報は信頼できない）。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③「屋内に、屋内で」です。`indoors`は副詞で、建物の内部にいたり、または内部へ移動することを表します。`It was too hot to play outside, so the children stayed indoors.`（外で遊ぶには暑すぎたので、子供たちは屋内で過ごした）。①「屋外に」は`outdoors`で、`indoors`の対義語です。②「ドアのそばに」は`by the door`、④「家の中に」は`inside the house`が適切な表現です。

◆補足：`indoors`（副詞）と`indoor`（形容詞）の使い分けが重要です。`indoors`は動詞を修飾し、`indoor`は`an indoor swimming pool`（屋内プール）のように名詞を修飾します。`s`が付くと副詞、付かないと形容詞と覚えると便利です。

6.

解答 ③

【解説】

正解は③の simple で、「簡単な、単純な、わかりやすい」という意味の形容詞です。複雑ではないことを表します。①の single は「ただ一つの、独身の」、②の sample は名詞で「見本」、④の similar は「似ている、同様の」という意味です。特に simple と single、similar はスペルが似ているので注意しましょう。

◆補足：`simple` の反対語は `complex` や `complicated` (いずれも「複雑な」) です。副詞形は `simply` (単に)。類義語の `easy` は、労力や困難が少ない「やさしさ」に焦点を当ててるのに対し、`simple` は構造が「単純」であることに焦点を当てます。例文: `The instruction manual was written in simple English.` (その取扱説明書は簡単な英語で書かれていた)。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④の「美術館、画廊」です。『gallery』は、特に絵画や彫刻などの美術品を展示、販売するための場所を指します。日本語の「ギャラリー」と同じ意味で使われることが多いです。「美術館」と訳されることもあります。大規模な総合「美術館」('art museum') と区別して、より小規模な、あるいは特定のテーマに絞った展示スペースを指す傾向があります。他の選択肢は、それぞれ異なる種類の公共施設を指す単語です。①の「劇場」は 'theater'。②の「水族館」は 'aquarium'。③の「体育館」は 'gym' です。これらの建物を表す単語は、街の様子や週末の予定について話す際によく使うので、区別して覚えておきましょう。

◆補足：最近では、スマートフォンの写真アプリの中にある、画像を一覧表示する機能も「ギャラリー」と呼ばれますね。これも、たくさんの作品(写真)が並んでいる様子から来た使い方です。例文: "We visited an art gallery in Ginza that was showing works by young artists." (私たちは銀座にある、若手アーティストの作品を展示している画廊を訪れた。)

8.

解答 ②

【解説】

正解は②「電気」です。`electricity` は、エネルギーの一形態である「電気、電力」を意味する名詞です。`This factory consumes a large amount of electricity.` (この工場は大量の電力を消費する)。①「弾力性」は `elasticity`、③「選挙」は `election`、④「優雅さ」は `elegance` がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`electricity` は数えられない名詞(不可算名詞)です。`generate electricity` (発電する)、`save electricity` (節電する)。形容詞形が前の問題の `electric` (電気の) です。

9.

解答 ①

【解説】

「double」は、形容詞として「2 倍の」「二重の」という意味を持ちます。数や量が 2 倍であることを示すときに使います。したがって、正解は①「2 倍の」です。②「単一の」は single で、double の反対の概念の一つです。③「難しい」は difficult、④「危険な」は dangerous という単語が対応します。

◆補足：`double` は動詞として「～を 2 倍にする」、名詞として「2 倍の量」という意味でも使われます。`double`、`triple` (3 倍の)、`quadruple` (4 倍の) のように倍数を表す言葉も覚えておくとう便利です。例文: `The price is double what it was five years ago.` (その価格は 5 年前の 2 倍です)。

10.

解答 ②

【解説】

正解は②の`mention`で、「～について（簡潔に）言及する、～に触れる」という意味の動詞です。詳しく説明するのではなく、話のついでに軽く触れたり、名前を挙げたりするニュアンスがあります。`He mentioned that he was going to a concert.` (彼はコンサートに行くと言っていた)。他の選択肢は、①`mean`が「～を意味する」、③`question`が「～に質問する」、④`tension`が名詞で「緊張」という意味です。

◆補足：`Don't mention it.`は`You're welcome.` (どういたしまして) と同じ意味で使われる丁寧な返答です。「お礼を言われるほどのことではありません」というニュアンスです。名詞としても`mention`は「言及」を意味し、`make a mention of`で「～に言及する」となります。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③の『join』です。この単語は、既にあるグループ、チーム、クラブ、活動などに、新しいメンバーとして「加わる、参加する」という意味で使われます。すでに行われている活動の輪の中に入っていくイメージです。テニス部という既存のグループに参加する、というこの問題の状況に最も適しています。他の選択肢も「入る」に関連する動詞ですが、ニュアンスが異なります。①の『enter』は、建物や部屋、あるいは学校などに物理的に「入る」という意味や、「入学する」という意味で使われます。②の『attend』は、会議や授業、式典などに「出席する」という意味です。④の『visit』は、人や場所を「訪れる」という意味です。

◆補足：『join』は、"join the soccer team" (サッカーチームに入る)、"join the conversation" (会話に加わる) のように、スポーツチームから気軽な会話まで、幅広い対象に使うことができる便利な単語です。例文: "Would you like to join us for lunch?" (私たちと一緒にお昼ごはんはいかがですか?)

12.

解答 ①

【解説】

正解は①「全体の、すべての」です。形容詞の`whole`は、何かが一部分欠けることなく、丸ごと全部ある状態を表します。`I spent the whole day cleaning my room.` (私は丸一日、部屋の掃除をして過ごした)。通常、`the`、`my`、`a`などの限定詞の後に置かれます。②「半分の」は`half`、③「一部の」は`part of` ~、④「空の」は`empty`です。

◆補足：`whole`と`all`はどちらも「すべての」と訳せますが、語順が異なります。`the whole day` (その日全体) と `all day` (一日中) はほぼ同じ意味ですが、`whole`は`the`の後に、`all`は`the`の前に来るのが一般的です。また、`hole` (穴) と発音が同じ同音異義語なので、リスニングやスペリングには注意が必要です。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④の`and so on`で、「～など、その他いろいろ」という意味です。いくつかの例を挙げた後に、同様のものが他にもあることを示すために文末に置かれます。`We talked about our hobbies, future plans, and so on.` (私たちは趣味や将来の計画などについて話した)。他の選択肢は、①`and so far`という決まった表現はなく、②`and so what?`は「だから何だ?」と反発する表現、③`sooner or later`は「遅かれ早かれ」という意味の熟語です。

◆補足：`and so on`とほぼ同じ意味で`and so forth`や`etc.` (ラテン語の *et cetera* の略) も使われます。`etc.`は主に書き言葉で使われ、発音は「エトセトラ」です。会話では`and so on`や`and things like that`を使うのがより自然です。

14.

解答 ④

【解説】

正解は④の`value`で、名詞として「価値、価格」、動詞として「～を尊重する、高く評価する」という二つの重要な意味があります。名詞の例: `The real value of education cannot be measured in money.` (教育の真の価値はお金では測れない)。動詞の例: `I value your friendship more than anything.` (私

は何よりもあなたの友情を大切に思っている)。他の選択肢は、①`virtue`が「美德、善」、②`volume`が「音量、量、巻」、③`view`が「眺め、意見」という意味です。

◆補足：形容詞形は`valuable`（高価な、貴重な）です。`of great value`で`very valuable`とほぼ同じ意味になります。また、`values`と複数形になると、個人や社会が大切にする「価値観」という意味で使われることが多いです。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③の`lose one's way`で、「道に迷う」という意味です。`one's`の部分には`my`、`your`、`his`などの所有格が入り、誰が道に迷ったのかを示します。`We lost our way in the complicated subway system.`（私たちは複雑な地下鉄のシステムで道に迷った）。他の選択肢は、①`make one's way`が「(苦労して) 進む」、②`find one's way`が「道を見つける、たどり着く」、④`lead the way`が「先導する、道案内する」という、それぞれ`way`を使った重要な表現です。

◆補足：`get lost`も「道に迷う」という意味で、`lose one's way`よりも口語的で頻繁に使われる表現です。`I'm sorry I'm late. I got lost.`（遅れてすみません。道に迷いました）。

16.

解答 ③

【解説】

正解は③の`count`で、主に二つの意味があります。一つは「～を数える」という他動詞としての用法です。もう一つは「重要である、価値がある、勘定に入る」という自動詞としての用法で、こちらが準2級レベルでは特に重要です。`Every little bit counts.`（どんな些細なことでも重要だ）。`It's not how much you read, but what you read that counts.`（どれだけ読むかではなく、何を読むかが重要だ）。他の選択肢は、①`mount`が「～に登る」、②`court`が「裁判所、コート」、④`country`が「国」という意味です。

◆補足：`count on ~`で「～を頼りにする、あてにする」という重要な句動詞になります。`You can count on me.`（私に任せてください）。`countdown`（秒読み）もこの`count`から来ていますね。

17.

解答 ②

【解説】

正解は②の`factory`で、製品が機械を使って大規模に生産される「工場」を意味します。`This factory produces over 1,000 cars a day.`（この工場は1日に1000台以上の車を生産している）。他の選択肢

は、①`faculty`が「(大学の) 学部」や「能力」、③`facility`が「施設、設備」、④`factor`が「要因、要素」という意味です。

◆補足：`a factory worker` (工場労働者)、`a factory tour` (工場見学)。「製造業」は`manufacturing industry`と言います。

18.

解答 ④

【解説】

正解は④の`original`で、主に二つの意味を持つ形容詞です。一つは「元の、最初の」で、変更や複製がされる前の状態を指します。もう一つは「独創的な、独創性のある」で、他人の真似ではない、新しい発想に基づいていることを示します。`The original plan was to go by train.` (元の計画は電車で行くことだった)。`He has a highly original style of painting.` (彼は非常に独創的な画風を持っている)。他の選択肢は、①`ordinary`が「普通の」、②`official`が「公式の」、③`organic`が「有機の」という意味です。

◆補足：名詞の`original`は「原作、原型」を意味します。副詞形は`originally` (元々は) です。`This building was originally a school.` (この建物は元々は学校だった)。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を減らす」です。`reduce`は、「～ (の量・数・価格など) を減らす、縮小する」という意味の動詞です。`The government is taking steps to reduce unemployment.` (政府は失業率を減らすための対策を講じている)。①「～を再利用する」は`reuse`、②「～を導入する」は`introduce`、④「～を拒絶する」は`refuse`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：名詞形は`reduction` (減少、削減) です。`a reduction in costs` (コストの削減)。対義語は`increase` (～を増やす) です。

20.

解答 ④

【解説】

正解は④の`both A and B`で、「A と B の両方」という意味です。二つのものを両方とも指し示します。`both A and B`が主語になる場合、動詞は常に複数形になります。`Both English and math are important subjects.` (英語と数学は両方とも重要な科目だ)。他の選択肢は、①`either A or B`が「A か B のどちらか」、②`neither A nor B`が「A でも B でもない」、③`not only A but also B`が「A だけでなく B も」という意味です。

◆補足：`I like both.`（両方好きです）のように、`both`は代名詞としても使われます。また、`We both like soccer.`のように、代名詞の後に置いて「私たちは二人とも」と強調することもできます。

21.

解答 ③

【解説】

正解は③の`unfortunately`で、「不運にも、残念ながら」という意味の副詞です。文頭に置かれて文全体を修飾することが多く、期待や希望に反する良くない出来事が起こったことを示します。

`Unfortunately, the concert was canceled due to the storm.`（残念ながら、コンサートは嵐のため中止になった）。他の選択肢は、①`unexpectedly`が「予期せずに、思いがけず」、②`unfriendly`が形容詞で「よそよそしい」、④`uncomfortable`が形容詞で「不快な」という意味です。

◆補足：`unfortunately`は、形容詞`fortunate`（幸運な）に、否定を表す接頭辞`un-`と、副詞を作る接尾辞`-ly`が付いてできた単語です。対義語は`fortunately`（幸運にも）で、これも文頭でよく使われます。`Fortunately, everyone was safe.`（幸いなことに、全員無事だった）。

22.

解答 ④

【解説】

正解は④の`balanced`で、「バランスのとれた、均衡のとれた」という意味の形容詞です。複数の要素が適切な割合で調和し、安定している状態を表します。`A balanced meal should include a variety of foods.`（バランスの取れた食事は、様々な食品を含むべきだ）。他の選択肢は、①`based`が「～に基づいた」、②`banned`が「禁止された」、③`basic`が「基本的な」という意味です。

◆補足：`balanced`は、動詞`balance`（～のバランスをとる）の過去分詞形が形容詞として使われているものです。名詞の`balance`（バランス、均衡）ももちろん重要です。`It's important to keep a balance between work and private life.`（仕事と私生活のバランスを保つことが重要だ）。

23.

解答 ①

【解説】

正解は①「よそよそしい、不親切な」です。`unfriendly`は、人の態度が冷淡であったり、敵意があったりする様子を表す形容詞です。`friendly`（友好的な、人なつこい）に、否定を表す接頭辞`un-`が付いた形です。`He gave me an unfriendly smile.`（彼は私によそよそしい笑みを向けた）。②「友好的な」は`friendly`で、`unfriendly`の対義語です。③「知らない」は`unfamiliar`や`unknown`、④「珍しい」は`unusual`や`rare`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`friendly`や`unfriendly`は、`-ly`で終わりますが副詞ではなく形容詞です。このように`-ly`で終わる形容詞には、他にも`lovely`（愛らしい）、`lonely`（寂しい）、`silly`（愚かな）などがあります。品詞の働きに注意しましょう。

24.

解答 ④

【解説】

正解は④の`feed`で、「～にえさをやる、～を養う」という意味の動詞です。動物や赤ちゃんに食べ物を与えることや、家族などの生活の面倒を見ること（扶養する）を表します。`It's my turn to feed the cat today.`（今日は私が猫にえさをやる番だ）。`He works two jobs to feed his family.`（彼は家族を養うために二つの仕事を掛け持ちしている）。他の選択肢は、①`feel`が「～を感じる」、②`bleed`が「出血する」、③`breed`が「～を繁殖させる、飼育する」という意味です。

◆補足：`feed`の活用は`feed - fed - fed`と不規則に変化します。過去形・過去分詞形のスペルと発音に注意しましょう。`feed on ～`という形になると「(動物が) ～を常食とする」という意味になります。`Lions feed on other animals.`（ライオンは他の動物を常食とする）。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「必ず～する」です。`be sure to do`は、相手に対して何かを確実に行うように念を押したり、自分がある行動を確実に行う意志を表したりする際に使います。命令文の形で`Be sure to ...`（必ず～してください）と使われることが非常に多いです。`Be sure to turn off the lights when you leave the room.`（部屋を出るときは必ず電気を消してください）。②「～するはずだ」は`be supposed to do`、③「～しそうである」は`be likely to do`、④「～する準備ができています」は`be ready to do`です。

◆補足：`I'm sure that ...`（…ということを確信している）という表現と混同しないように注意しましょう。`be sure to do`が「行動」を促すのに対し、`be sure that ...`は話し手の「確信」を表します。`I'm sure he will pass the exam.`（彼が試験に合格することを私は確信している）。

26.

解答 ③

【解説】

正解は③の`no more than ～`で、「～しか、たった～だけ」という意味です。これは`only`とほぼ同じ意味で、話者がその数量を「少ない」と感じていることを強調します。`The theater had no more than twenty people in it.`（その劇場には20人しかいなかった）。他の選択肢は、①`not more than ～`が

「多くても～、せいぜい～」(= at most)、②`no less than ～`が「～も (たくさん)」(= as many/much as)、④`not less than ～`が「少なくとも～」(= at least) と、それぞれ異なるニュアンスを表す重要な表現です。

◆補足：`no more than` (～しか) と `not more than` (多くても～) の使い分けは非常に紛らわしいですが、`no` が付けば `only` と同じ、`not` が付けば `at most` (多くても) と同じ、と覚えておくの良いでしょう。これらの表現は、数量に対する話者の主観的な評価 (多いか少ないか) を伝えるのに役立ちます。

27.

解答 ④

【解説】

正解は④の `take a look at` で、「～を (ちょっと) 見る、一見する」という意味です。`look at` よりも少し気軽で、短い時間でさっと見るニュアンスがあります。`Can you take a look at my report before I submit it?` (提出する前に私のレポートにちょっと目を通していただけますか?)。他の選択肢は、①`keep an eye on` が「～から目を離さない」、②`take part in` が「～に参加する」、③`take advantage of` が「～を (うまく) 利用する」という意味です。

◆補足：`take a look at` は `have a look at` とほぼ同じ意味で使えます。`Let's take a closer look at the data.` (そのデータをもっと詳しく見てみましょう)。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④の `lose` で、「～を失う、なくす」または「(試合など) に負ける」という意味の動詞です。`I seem to have lost my keys.` (私は鍵をなくしてしまったようだ)。`It is important to learn from losing a game.` (試合に負けることから学ぶことは重要だ)。他の選択肢は、①`loose` が形容詞で「ゆるい」、②`close` が動詞で「～を閉じる」や形容詞で「近い」、③`rose` が名詞で「バラ」または動詞 `rise` の過去形です。

◆補足：`lose` の活用は `lose - lost - lost` と不規則に変化します。`lose` と `loose` は発音の違い (/lu:z/ vs /lu:s/) も重要です。`lose one's way` (道に迷う)、`lose weight` (体重を減らす) といった熟語も覚えておきましょう。

29.

解答 ①

【解説】

正解は①「難しい」です。`difficult`は「困難な」という意味も持ち、理解したり、行ったり、解決したりするのが容易ではないことを示す基本的な形容詞です。`It is difficult for me to express my feelings in words.`(私にとって、自分の感情を言葉で表現するのは難しい)。②「簡単な」は`easy`や`simple`で、`difficult`の明確な対義語です。③「異なる」は`different`、④「熱心な、勤勉な」は`diligent`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：名詞形は`difficulty`（難しさ、困難）です。`have difficulty (in) doing`で「～するのに苦労する」という重要な構文になります。`He had no difficulty passing the exam.`（彼は難なく試験に合格した）。

30.

解答 ④

【解説】

正解は④の『forget』です。この動詞は、「～を忘れる」という意味で、頭の中から記憶がなくなってしまうことや、何かをすべきことをうっかり実行し忘れることを表します。「鍵をかける」という行為をすべきだったのに、それをしなかった、というこの問題の状況に最も適しています。他の選択肢も、何かをなくしたり、覚えていたりする状況で使われる重要な単語です。①の『remember』は「～を覚えている、思い出す」という意味で、『forget』の対義語です。②の『lose』は、物や試合などを「～を失う、なくす」という意味です。③の『leave』は「～を置き忘れる」という意味で、物をどこかに置いたままにしてきてしまった状況で使います。「記憶」をなくすのが `forget`、「物」をなくすのが `lose` や `leave` と区別すると分かりやすいです。

◆補足：『forget to do』（～するのを忘れる）と『forget doing』（～したことを忘れる）の使い分けは、非常に重要な文法ポイントです。前者は未来の行為を、後者は過去の行為を忘れることを指します。例文: "Don't forget to lock the door when you go out." (外出する時は、ドアに鍵をかけるのを忘れないでね。)"I'll never forget seeing that beautiful sunset." (あの美しい夕日を見たことを、私は決して忘れないだろう。)

31.

解答 ②

【解説】

正解は②「子犬」です。`puppy`は、若い犬、特に1歳未満の犬を指す名詞です。`We are looking for a new home for these puppies.`(私たちはこれらの子犬たちのために新しい家を探している)。①「子猫」は`kitten`、③「人形」は`doll`、④「ペット」は`pet`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：複数形は`puppies`と、`y`を`ies`に変える形になります。`puppy love`で「(子供の)初恋」を意味することもあります。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を表す、～を支持する」です。`stand for` は、主に二つの意味があります。一つは、記号や文字、略語などが「～を表す、～の略である」という意味です。もう一つは、考えや理念などを「～を支持する、擁護する」という意味です。`"USA" stands for the United States of America.` (「USA」はアメリカ合衆国を表します)。`This party stands for freedom of speech.` (この政党は言論の自由を支持している)。②「～の味方である」は`stand by`、③「目立つ」は`stand out`、④「～に立ち向かう」は`stand up to` です。

◆補足：`stand for` は、`represent` (～を表す) や `support` (～を支持する) と似た意味で使えます。

33.

解答 ①

【解説】

正解は①「純粋な、混じりけのない」です。形容詞の`pure` は、他の物質が混ざっていない、100%そのものである状態を表します。`This scarf is made of pure silk.` (このスカーフは純粋な絹でできている)。また、比喩的に、心や動機が「純粋な、潔白な」という意味でも使われます。`He loved her with a pure heart.` (彼は純粋な心で彼女を愛していた)。②「貧しい」は`poor`、③「礼儀正しい」は`polite`、④「個人的な」は`personal` が適切な単語です。

◆補足：名詞形は`purity` (純粋さ、清浄) です。動詞形は`purify` (～を浄化する、精製する) となります。`a water purifier` (浄水器)。`pure white` (純白) や `pure water` (純水) といったコロケーションで使われます。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①「人気のある」です。`popular` は、多くの人から好かれ、支持されている様子を表す形容詞です。`This restaurant is very popular, so we should make a reservation.` (このレストランはとても人気があるので、予約をすべきだ) のように使います。②の`famous` (有名な) と混同されがちですが、`famous` は良い意味でも悪い意味でも単に「広く知られている」状態を指すのに対し、`popular` は人々からの「好意」というニュアンスを含みます。例えば、有名な犯罪者は`famous` ですが `popular` ではありません。③「公共の」は`public`、④「適切な」は`proper` や `appropriate` がそれぞれ対応する単語です。

◆補足：`popular` の名詞形は`popularity` (人気) です。`The band gained huge popularity in the 1990s.` (そのバンドは 1990 年代に絶大な人気を得た)。コロケーションとしては`popular among/with` (～の間に人気がある) の形を覚えておきましょう。

35.

解答 ④

【解説】

正解は④の`past`で、名詞として「過去」、前置詞として「～を過ぎて」という二つの主な意味があります。名詞の例: `We should learn from the past.` (私たちは過去から学ぶべきだ)。前置詞の例: `Go past the bank and turn right.` (銀行を通り過ぎて右に曲がってください)。他の選択肢は、①`post`が「郵便」や「柱」、②`path`が「小道」、③`pass`が動詞で「～を通り過ぎる」という意味です。

◆補足: `in the past`で「過去には」という熟語になります。形容詞としても「過去の」という意味で使われます。`the past decade` (過去 10 年間)。`past`と動詞`pass`の過去形`passed`は発音が同じなので注意が必要です。

36.

解答 ③

【解説】

正解は③「転ぶ、倒れる」です。`fall down`は句動詞で、立っていた人や物が、地面に倒れることを表します。`The child fell down and started to cry.` (その子供は転んで泣き出した)。①「恋に落ちる」は`fall in love`、②「病気になる」は`fall ill`や`get sick`、④「落ち込む」は`feel down`や`get depressed`などが適切な表現です。

◆補足: `fall down`と似た表現に`fall over`があります。`fall over`は、何かにつまずいて「転ぶ」というニュアンスで使われることが多いです。`He tripped over a rock and fell over.` (彼は石につまずいて転んだ)。`fall`の活用は`fall - fell - fallen`と不規則に変化する点にも注意が必要です。

37.

解答 ③

【解説】

動詞「sink」は、液体の中に「沈む」ことを表すのが主な意味です。船が沈んだり、太陽が地平線に沈んだりする様子に使われます。したがって、正解は③「沈む」です。①「考える」は`think`、②「歌う」は`sing`、④「感謝する」は`thank`で、いずれも`sink`と音が似ているので聞き取りや発音で混同しないよう注意が必要です。

◆補足: `sink`の活用は`sink - sank - sunk`と不規則に変化します。反対語は`float` (浮かぶ) です。名詞としては台所の「流し、シンク」という意味でよく知られていますね。例文: `A ship sank in the storm.` (嵐で船が沈んだ)。

38.

解答 ④

【解説】

正解は④「病気」です。`disease`は「疾患」という意味の名詞で、特に、体の一部または全体が正常に機能しない、深刻な、あるいは長期にわたる病気を指すことが多いです。`Regular checkups can help in the early detection of diseases.`（定期的な健康診断は病気の早期発見に役立つ）。①「死」は`death`、②「安楽、容易さ」は`ease`、③「減少」は`decrease`です。

◆補足：`illness`や`sickness`も「病気」ですが、`disease`はより医学的で、特定の原因や症状を持つ疾患というニュアンスが強いです。コロケーションとしては、`heart disease`（心臓病）、`a contagious disease`（伝染病）、`prevent disease`（病気を予防する）などがあります。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②の「死んだ、機能しない」です。『dead』は、「死んでいる」という状態を表す形容詞です。動詞の`die`（死ぬ）と混同しないように注意が必要です。「死ぬ」という一瞬の動作(die)の結果、続いている「死んだ状態」が『dead』です。また、人や動物だけでなく、機械や電池などが「機能しない、動かない」という意味でも非常によく使われます。例えば、"My phone is dead." は「携帯の充電が切れた」という意味の決まり文句です。①の「死にかけている」は`dying`、③の「死ぬ運命にある」は`mortal`、④の「致命的な」は`deadly`や`fatal`という、それぞれ異なる単語や形になります。

◆補足：『dead』は形容詞なので、be 動詞と一緒に使われることが基本です。"He is dead."（彼は亡くなっている。）のように使います。動詞の`die`は "He died last year."（彼は昨年亡くなった。）のように、過去の出来事として使います。この品詞の違いは非常に重要なので、しっかり区別してください。

40.

解答 ①

【解説】

正解は①「気候」です。`climate`は、ある地域における、長期間にわたる平均的な気温、降水量、風などの気象の状態を指します。`The climate of Hokkaido is very different from that of Okinawa.`（北海道の気候は沖縄の気候とは大きく異なる）。②「天気」は`weather`で、日々変化する空模様を指します。この`climate`（長期的）と`weather`（短期的）の違いは非常に重要です。③「温度」は`temperature`、④「雲」は`cloud`です。

◆補足：近年、世界的な問題となっている「気候変動」は`climate change`と言います。`climate`は比喩的に、ある場所や組織の「雰囲気、風潮、情勢」を指すこともあります。`the political climate`（政治情勢）。

41.

解答 ①

【解説】

正解は①「考え、思考」です。名詞の`thought`は、頭の中で考えられること、アイデア、意見、あるいは考えるという行為そのものを指します。`Let me know your thoughts on this plan.`（この計画についてのあなたの考えを聞かせてください）。②「真実」は`truth`、③「感謝」は`thanks`、④「教えた」は動詞`teach`の過去形・過去分詞形の`taught`で、品詞が異なります。

◆補足：`thought`は、動詞`think`（考える）の過去形・過去分詞形でもあります。名詞か動詞かは文脈で判断する必要があります。`I thought it was a good idea.`（私はそれが良い考えだと思った）。コロケーションとしては`give it some thought`（それについてよく考える）、`deep in thought`（物思いに深く沈んで）などがあります。

42.

解答 ②

【解説】

正解は②の`ache`で、名詞として「(持続的な) 痛み」、動詞として「痛む」という意味を持ちます。`headache`（頭痛）、`stomachache`（腹痛）、`toothache`（歯痛）、`backache`（腰痛）のように、体の部位を表す単語と結びついて使われることが非常に多いです。`I have a dull ache in my shoulder.`（肩に鈍い痛みがある）。他の選択肢は、①`each`が「それぞれ」、③`arch`が「アーチ」、④`ake`は存在しない単語です。

◆補足：`pain`も「痛み」ですが、`ache`が持続的な鈍い痛みを指すことが多いのに対し、`pain`はより一般的で、鋭い痛み（`a sharp pain`）も含む言葉です。

43.

解答 ③

【解説】

正解は③の **originally** で、「もともとは」「最初は」「本来は」という意味の副詞です。物事の起源や、過去と現在の変化を述べるときによく使われます。①の **gradually** は「徐々に、だんだんと」、②の **especially** は「特に、とりわけ」、④の **recently** は「最近」という意味です。これらは文中で重要な役割を果たす副詞ですので、それぞれの意味を正確に把握しておくことが大切です。

◆補足：`originally` は名詞 `origin`（起源）や形容詞 `original`（最初の、独創的な）の仲間です。セットで覚えると効率的です。例文: `This building was originally a school.`（この建物はもともと学校でした）。

44.

解答 ①

【解説】

正解は①「機会、好機」です。`opportunity`は、何かをするのに都合の良い状況やタイミング、つまり「チャンス」を意味する名詞です。特に、キャリアアップや自己成長につながるような、価値ある機会というニュアンスで使われることが多いです。`Studying abroad is a great opportunity to learn a new language and culture.`（留学は新しい言語と文化を学ぶ絶好の機会だ）。②「意見」は`opinion`、③「操作」は`operation`、④「反対」は`opposition`です。

◆補足：`opportunity`と`chance`はどちらも「機会」と訳せますが、`opportunity`の方がよりフォーマルで、努力して得るべき「好機」というニュアンスが強いです。一方、`chance`は「偶然の機会」や「可能性」という意味でも使われます。コロケーションとしては、`seize an opportunity`（機会を掴む）、`miss an opportunity`（機会を逃す）などがあります。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「(試合など)に勝つ、(賞など)を勝ち取る」です。動詞の`win`は、試合や競争などに「勝つ」ことや、その結果として賞や契約などを「獲得する」ことを意味します。`Who do you think will win the next presidential election?`（次の大統領選挙では誰が勝つと思いますか?）。`She won a gold medal at the Olympics.`（彼女はオリンピックで金メダルを獲得した）。①「～を稼ぐ」は`earn`、②「～を打つ」は`hit`、③「(相手)を打ち負かす」は`beat`や`defeat`が適切な単語です。

◆補足：`win`と`beat`の使い分けが重要です。`win`は試合や賞を目的語にとりますが、`beat`は対戦相手を目的語にとります。`Our team beat their team.`（我々のチームは彼らのチームを打ち負かした）。`win`の活用は`win - won - won`と不規則に変化します。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③「似ている、同様の」です。`similar`は形容詞で、完全に同じではないものの、多くの共通点があることを示します。`be similar to ~`の形で「～と似ている」と表現するのが一般的です。`My hobbies are similar to yours.`（私の趣味はあなたのと似ている）。①「単純な」は`simple`、②「深刻な」は`serious`、④「分離した」は`separate`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：名詞形は`similarity`（類似点）です。`There are many similarities between the two languages.`（その二つの言語には多くの類似点がある）。対義語は`different`（異なる）です。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②「他の、もう一方の」です。形容詞の`other`は、すでに述べられたものや、今あるものとは違う、残りのものを指します。`Are there any other options?`（何か他に選択肢はありますか?）。また、二つあるうちの「もう一方の」という意味でも使われ、その場合は`the`を付けて`the other`となります。`I have two brothers. One is a doctor, and the other is a teacher.`（私には兄弟が二人いる。一人は医者で、もう一人は教師だ）。①「全体の」は`whole`、③「それぞれの」は`each`、④「どんな〜でも」は`any`です。

◆補足：`other`を含む表現は非常に多く、それぞれ用法が異なるため正確に覚えることが重要です。`another`（（三つ以上あるうちの）別の不特定の一つ）、`others`（他の人々・もの）、`each other`（お互いに）など、文法問題で頻出します。

48.

解答 ④

【解説】

正解は④の`available`で、「利用できる、入手できる、手が空いている」という意味の形容詞です。物やサービスが利用可能であることや、人が会ったり話したりする時間があることを示します。`Tickets are still available online.`（チケットはまだオンラインで入手可能です）。`I'm sorry, I'm not available at that time.`（申し訳ありませんが、その時間は手が空いていません）。他の選択肢は、①`valuable`が「貴重な」、②`visible`が「目に見える」、③`acceptable`が「受け入れられる」という意味です。

◆補足：名詞形は`availability`（利用できること、入手可能性）です。ビジネスの場面でアポイントメントを取る際など、`Are you available ...?`（〜はご都合よろしいですか?）という形で頻繁に使われる、非常に便利な単語です。

49.

解答 ②

【解説】

正解は②の`alone`で、「一人で、ただ一人で、孤独で」という意味の形容詞・副詞です。他に誰もいない、物理的な状態を表します。`I want to be alone for a while to think.`（考えるために、しばらく一人になりたい）。他の選択肢は、①`lonely`が「（精神的に）寂しい」、③`own`が「自分自身の」、④`along`が前置詞で「〜に沿って」という意味です。

◆補足：`alone`（一人での状態）と`lonely`（寂しいという感情）の違いは非常に重要です。一人でいても寂しいとは限りません。`I live alone, but I don't feel lonely.`（私は一人暮らしだが、寂しいとは感じない）。`leave ~ alone`で「〜をそっとしておく」という熟語になります。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④の`stand by ~`で、「(困難な時に) ~を支持する、~の味方である、~を見捨てない」という意味の句動詞です。人が苦しい状況にあるときに、その人のそば(`by`)に立ち(`stand`)、助けたり精神的な支えになったりすることを表します。`No matter what happens, I will always stand by you.` (何が起ころうとも、私はいつも君の味方だよ)。他の選択肢は、①`stand for ~`が「~を表す、象徴する」、②`stand out`が「目立つ」、③`stand up to ~`が「~に立ち向かう」という意味です。

◆補足：`stand by`には、他に「待機する」や「(約束などを) 守る」という意味もあります。`The rescue team is standing by for instructions.` (救助隊は指示を待って待機している)。文脈に応じて意味を判断することが大切です。
